

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護保険事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	菊池 義博					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護保険被保険者	意図	多岐にわたる介護保険事業を円滑に遂行する。
事業内容	介護保険事務に係る一般事務臨時職員の賃金支払い、介護保険被保険者証等の郵送料の支払い及び介護保険システム電算業務委託料（ダウンサイジング分）支払等。			
事業開始から現在までの状況変化	第1号被保険者及び認定者数の増加や制度改正に伴い、事務量が増加傾向にある。 認定者数の推移 平成23年度末 5,447人      平成24年度末 5,899人      平成25年度末 6,246人 平成26年度末 6,536人      平成27年度末 6,841人      平成28年度末 7,220人 平成29年度末 7,444人			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	第1号被保険者数	42411	43591	44513	人	↑↑↑	
②	認定者数	6841	7220	7444	人	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 団塊の世代が、要介護リスクの高まる75歳になる2025年以降は、介護認定者の急激な増加が予想される。そのため将来に向けた介護予防施策や施設の充実等に取り組んでいる。平成29年度は、制度改正に伴うシステム改修を国の補助を受け行った。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		33,566,044	36,853,497	38,166,185				
事業費(b)(円)		25,488,044	29,428,997	30,894,685				
うち一般財源								
職員給与と費(c)(円)		8,078,000	7,424,500	7,271,500				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	事務の効率化を図るための具体策の発掘に努めていく。	③取組の課題	組織改編による取扱事務について関係機関への周知が必要となる。制度改正に伴うシステム変更が必要となる。
②今年度(H29)に実施した取組	事務量の増加に対応するため組織改編を行い介護予防係の事務の一部を高齢者支援課へ移管し、事務の効率化を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	今後も事務量の増加に対応するため、効率化に向け検討を行う。